



Hello!
NEW

新居浜

新居浜の
玉手箱

正法寺遺跡出土の泥塔

市史編さん室では、新居浜市に関係する古い資料を調べています。あなたのご自宅にも古い写真や文書などが眠っていませんか？皆さんの情報の情報をお待ちしています。

大生院にある正法寺遺跡は、県内では唯一の「泥塔」出土地です。

泥塔とは、塔の形をした高さ10cm前後の小さな土製品で、奈良時代から江戸時代にかけて、供養のために作られたと考えられています。詳しいことはよく分かっていません。

正法寺遺跡出土の泥塔は、立体的な宝塔形で、その多くは数cmほどの大きさですが、他にあまり例を見ない20cm近い大きな泥塔が含まれています。また、底に穴がある泥塔は、願い事を書いた紙片などを入れていたのかもしれない。

古くから正法寺周辺で泥塔が出土することは知られていましたし、平成30年の試掘調査では、破片を含めて100点以上の泥塔が出土しました。この試掘調査で出土した泥塔は、ふるさとラボ（市民文化センター内）で展示され、6月に発刊した「新居浜市の歴史」にコラムが載っています。

「新居浜市の歴史」発売中

【発売場所】市史編さん室・市役所売店・

あかがねミュージアム・マイントピア別子

▼市史編さん室（☎65-1567）



塔泥及瓦古ルタン掘發リヨ址舊ノ寺法正山鉄石

正法寺周辺から出土した古瓦と泥塔
（「正法寺史」より）



試掘調査で出土した泥塔

広告欄